USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

# BenQ

# MX604

**このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？**

**www.mplamps.co.jp**

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

# プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのBenQ MX604の交換用ランプは、現在入手可能です。



**BenQ MX604プロジェクターランプ**

部品番号：5J.JGX05.001
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

## 21,930円から

**コードをスキャンするかアクセスする**

**www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Benq/MX604.html**

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

# MX604/MW605/MH606/MX604w/ MW605w/MH606w
# デジタル プロジェクター
# 取扱説明書

V 1.00

# 保証と著作権について

## 限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0 °C から 35 °C の間、高度 4920 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

## 著作権

Copyright © 2017 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピューター言語への翻訳を行うことはできません。

## おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

## 特許

BenQ プロジェクターの特許については、http://patmarking.benq.com/ をご覧ください。

# 目次

**保証と著作権について** ..... **2**

**安全にお使いいただくために** ..... **4**

**はじめに** ..... **7**

パッケージ内容 ..... 7

プロジェクター外観ビュー ..... 8

制御装置および機能 ..... 9

**プロジェクターの配置** ..... **12**

設置場所の選択 ..... 12

スクリーンサイズの調整 ..... 13

プロジェクターの取り付け ..... 15

投写画像の調整 ..... 16

**接続** ..... **18**

**操作** ..... **20**

プロジェクターの起動 ..... 20

メニューの使用方法 ..... 21

プロジェクターの保護 ..... 23

入力信号の切り替え ..... 24

プロジェクターをシャットダウンする ..... 25

直接電源オフ ..... 25

**メニューの操作** ..... **26**

**基本**メニュー ..... 26

**詳細設定**メニュー ..... 28

**メンテナンス** ..... **37**

プロジェクターのお手入れ ..... 37

ランプについて ..... 37

**トラブルシューティング** ..... **43**

**仕様** ..... **44**

プロジェクターの仕様 ..... 44

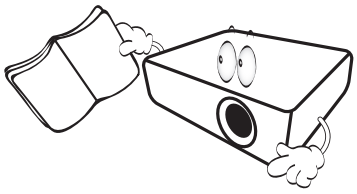
外形寸法 ..... 45

タイミングチャート ..... 46

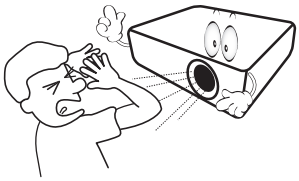
# 安全にお使いいただくために

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジーデバイスの最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

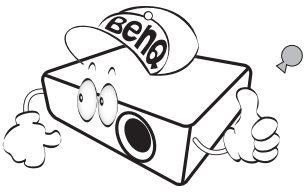
1. **プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。**またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



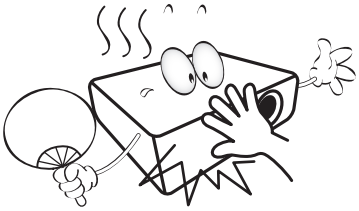
2. **動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。**強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



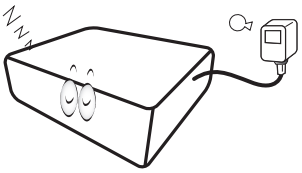
3. **点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。**



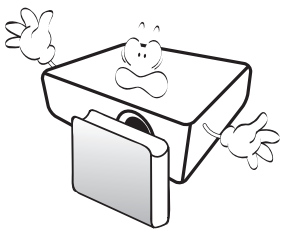

4. **プロジェクターのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッター（ある場合）を開くか、レンズキャップ（ある場合）を取り外してください。**
5. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。



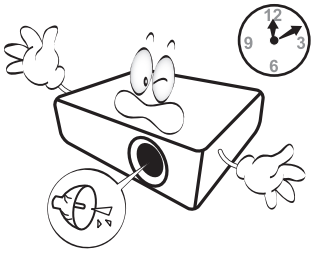
6. 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。プロジェクターは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。**電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお薦めします。**



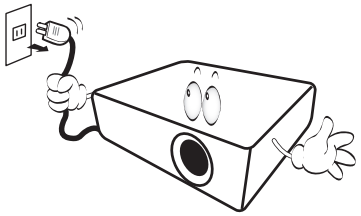
7. プロジェクターが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフにするには、消画機能をお使いください。



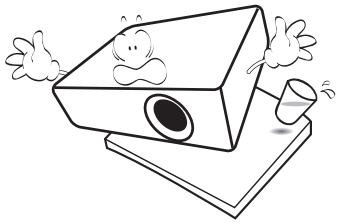
8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクターの電源プラグを抜いてから行ってください。

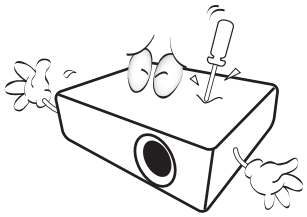


10. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、破損する恐れがあります。



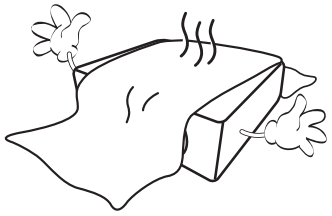
11. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。

    いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



12. 通気孔をふさがないでください。

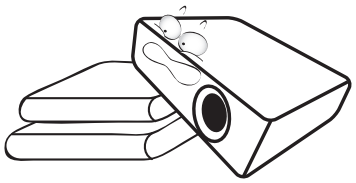
    - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。



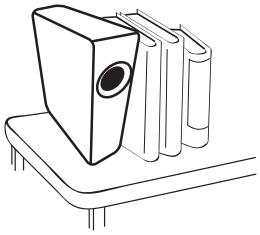
    通気孔がふさがれると、プロジェクターの内部が過熱し、火災が発生することがあります。

13. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。

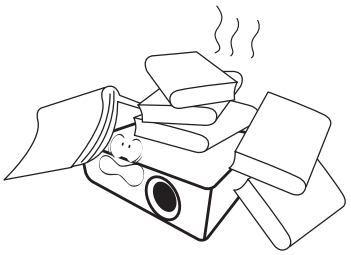
    - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクターを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。



14. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり、プロジェクターが破損したりする恐れがあります。

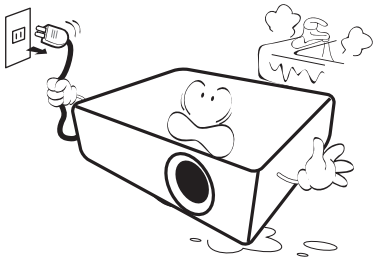


15. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。装置が物理的に破損するだけでなく、事故やけがの原因になります。

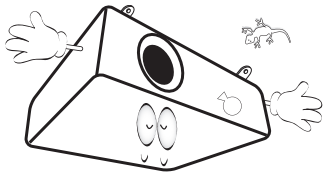


16. プロジェクターが作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。

17. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクターが濡れてしまった場合は、電源コンセントを抜いて、BenQに補修を依頼してください。



18. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。



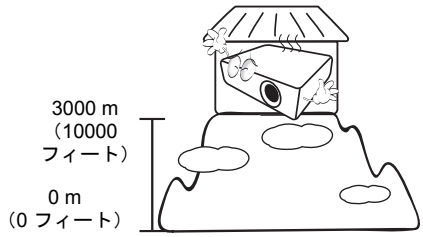
19. この装置は接地されていなければなりません。

20. 次の場所に装置を置かないでください。

- 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
- 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
- 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



- 火災報知器に近い場所。
- 周辺温度が 40 ℃ / 104°F を超える場所。
- 高度が 3000 メートル（10000 フィート）を超える場所。



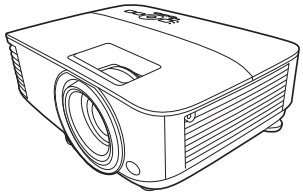

Hg - このランプの中には水銀が入っています。各自治体の回収規則にしたがってください。詳細は、www.lamprecycle.org をご覧ください。

# はじめに

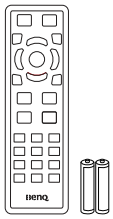
## パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 標準アクセサリ



プロジェクター



リモコン（電池付き）



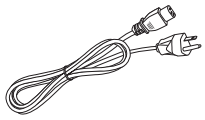
取扱説明書 CD



クイックスタートガイド



保証書 *



電源コード



QCast ミラードングル（MX604w/MW605w/MH606w のみ）

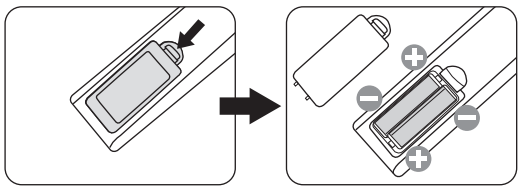
- 同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。
- * 保証書は特定地域でしか提供しておりません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

### オプション アクセサリ

1. スペアランプキット
2. 3D メガネ
3. ダストフィルタ

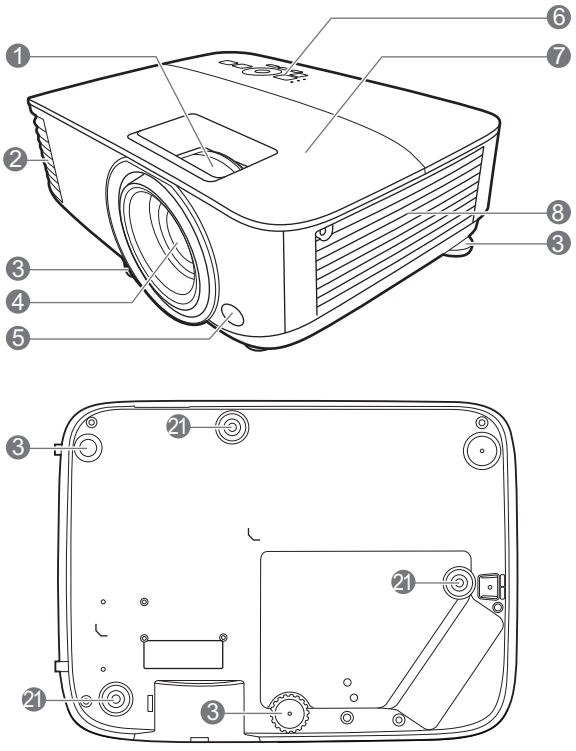
### リモコンの電池の交換

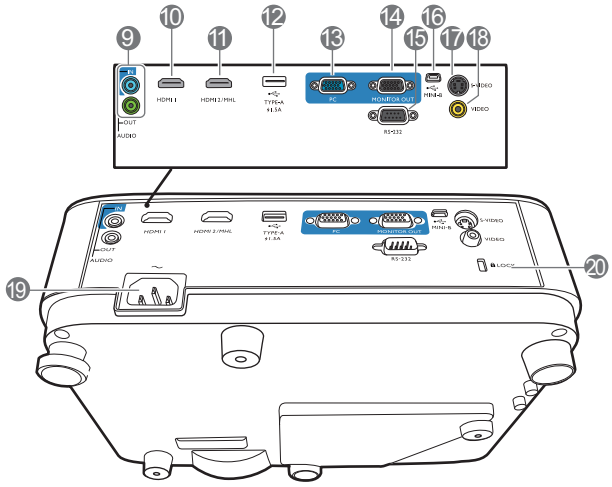
1. 図に示すように、バッテリーカバーを押すと開きます。
2. 古い電池を取り出して（該当する場合）、2 個の AAA（単 4）電池を挿入します。図に示すとおり、極性に注意してください。
3. 電池カバーをカチッという音がするまで元に戻してください。



- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

# プロジェクター外観ビュー



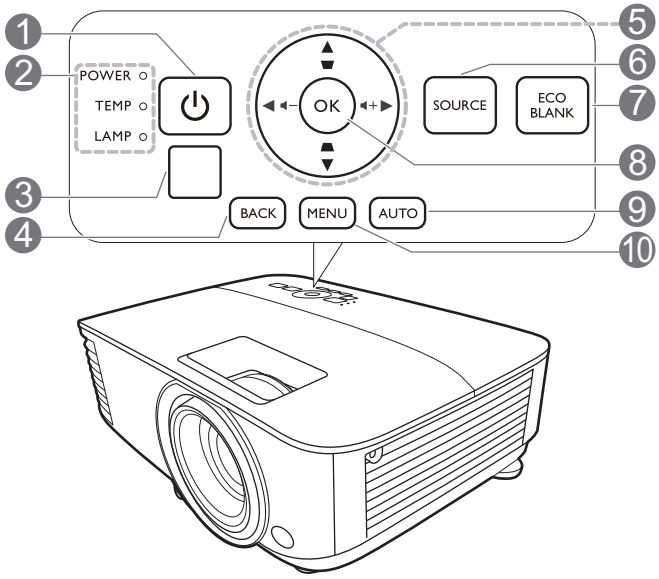



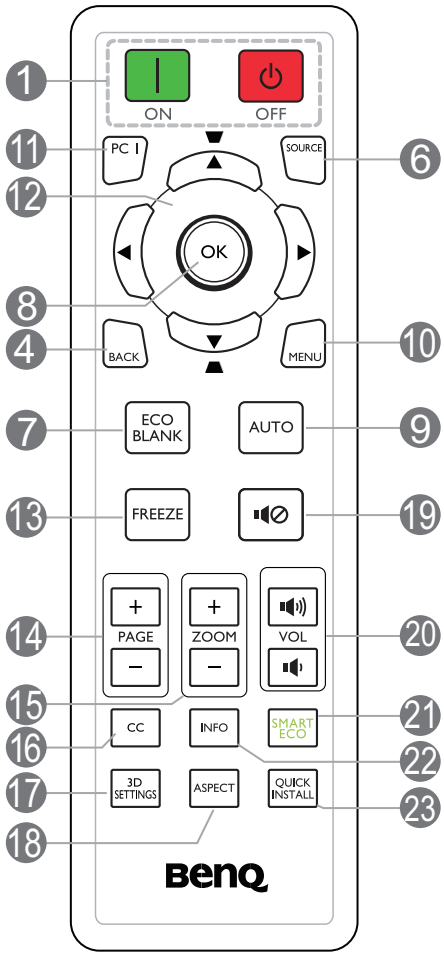

1. フォーカスリングとズームリング
2. 通気口（排気口）
3. 高さ調整脚
4. 投写レンズ
5. 赤外線リモートセンサー
6. 外部コントロールパネル
   （9 ページの「制御装置および機能」を参照してください。）
7. ランプカバー
8. 通気口（吸気口）
9. オーディオ入力ジャック
   オーディオ出力ジャック
10. HDMI 入力ポート
11. HDMI/MHL 入力ポート（HDMI ハードウェアキー用）
12. USB Type-A ポート
13. RGB (PC) 信号入力ジャック
14. RGB (PC) 信号出力ジャック
15. RS-232 制御ポート
16. USB Mini-B ポート
17. S-Video 入力ジャック
18. ビデオ入力ジャック
19. AC 電源ジャック
20. Kensington 盗難防止用ロックスロット
21. 天井取り付け穴

# 制御装置および機能

## プロジェクターとリモコン

本書で説明するキーはすべて、リモコンまたはプロジェクターにあります。




1. **電源**

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

   **ON/ Off**

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

2. **POWER インジケーターライト /TEMP（温度警告ライト）/LAMP（ランプインジケーターライト）**
   （42 ページの「インジケーター」を参照してください。）

3. 赤外線リモートセンサー

4. **BACK**

   前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

5. 矢印キー（▲、▼、◀、▶）

   オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

   **キーストーン キー（⏢、⏢）**

   キーストーン補正ページが表示されます。

   ボリュームキー 🔉−/🔊+

   プロジェクターの音量を調整します。

6. **SOURCE**

   ソース選択バーを表示します。

7. **ECO BLANK**

   スクリーン画像を消すために使用します。

   投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

8. **OK**

   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを確定します。

9. **AUTO**

   PC 信号（アナログ RGB）を選択したとき、表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。

10. **MENU**

    オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。

11. ソース選択ボタン：**PC 1**

    表示する **PC 1** 入力ソースを選択します。

12. 矢印キー（▲、▼、◀、▶）

    オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

    **キーストーン キー**（⏢、⏢）

    キーストーン補正ページが表示されます。

    ボリュームキー （◀、▶）

    プロジェクターの音量を調整します。

13. **FREEZE**

    投写画像を静止します。

14. **PAGE+/PAGE-**

    ページを上に / 下にコマンド（Microsoft PowerPoint など）に対応するディスプレイ ソフトウェア（接続された PC から）を操作します。

15. **ZOOM+/ZOOM-**

    投写画像のサイズを調整します。

16. **CC**

    **クローズドキャプション** メニューを表示します。

17. **3D SETTINGS**

    **3D** メニューを表示します。

18. **ASPECT**

    表示縦横比を選択します。

19. 🔇

    プロジェクターの音声をオン / オフに切り替えます。

20. ボリュームキー 🔉 / 🔊

    プロジェクターの音量を調整します。

21. **SMART ECO**

    適切なランプ稼働モードを選択できるように、**ランプモード**メニューが開きます。

22. **INFO**

    プロジェクターの情報が表示されます。

23. **QUICK INSTALL**

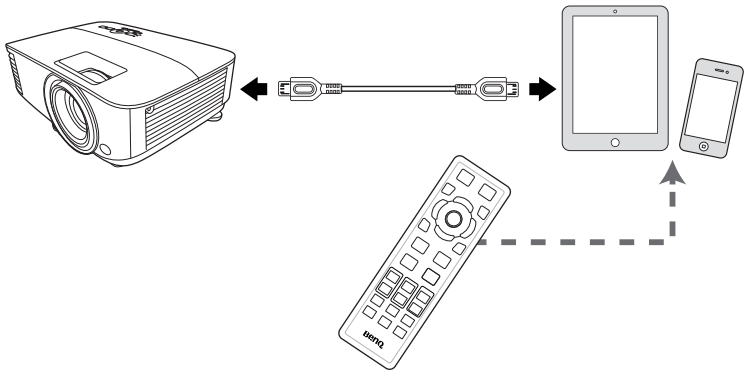
    いくつかの機能をすばやく選択し、投写画像を調整してテストパターンを表示します。

## リモコンでスマートデバイスを操作する

MHL 対応スマートデバイスからコンテンツを投写するとき、リモコンを使ってスマートデバイスを操作できます。

MHL モードに入るには、**AUTO** を 3 秒間押してください。スマートデバイスを操作するには、次のボタンを使用できます。**矢印キー（▲、▼、◀、▶）、MENU、BACK、OK**。

MHL モードを終了するには、**AUTO** を 3 秒間押してください。



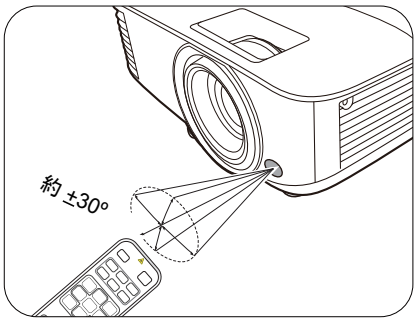
プロジェクターが MHL モードになっているときには、プロジェクターのキーパッドとリモコンの定義が同じになっているはずです。

## リモコンの有効範囲

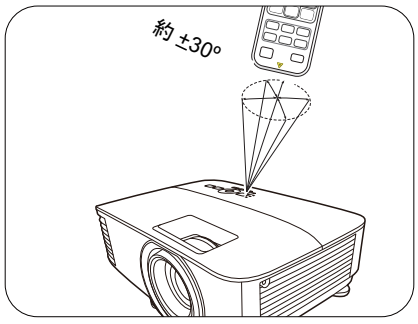
リモコンはプロジェクターの IR リモコン センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（~ 26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に障害物があると、赤外線光線が届かない場合があります。

- 正面からプロジェクターを操作する




- 上からプロジェクターを操作する



# プロジェクターの配置

## 設置場所の選択

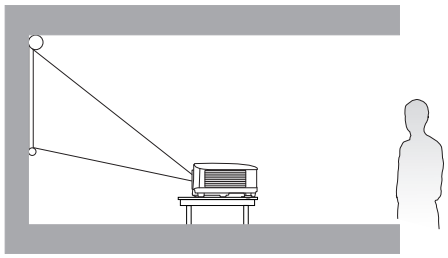
プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他のデバイスの間の位置と距離

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

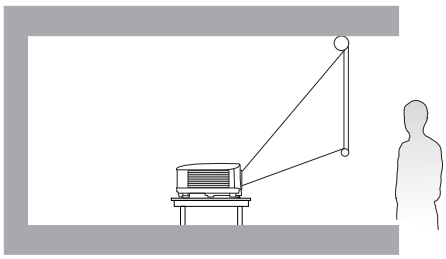
1. **床面前面**

プロジェクターをスクリーンの正面に置いたテーブルに設置します。これが最も一般的な設定です。



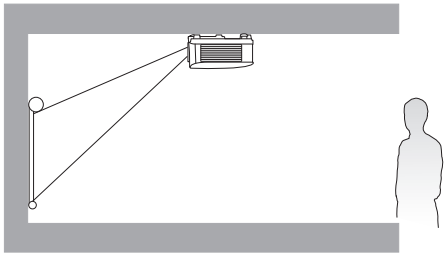
2. **床面背面**

プロジェクターをスクリーン背面に置いた机の上に設置します。専用の背面投写スクリーンが必要です。



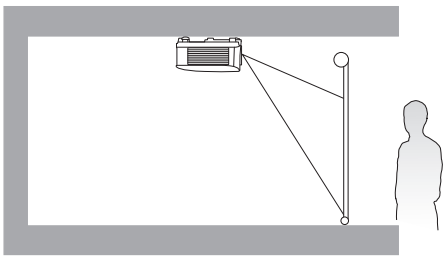
3. **天井前面**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクター天井 / 壁取り付けキットをご購入ください。



4. **天井背面**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背後から天井に取り付けます。専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクター天井 / 壁取り付けキットが必要です。



プロジェクターの電源を入れた後、**詳細設定メニュー - 設定** > **プロジェクターの設置** > **プロジェクターの設置**を選択して ◀/▶ を押し、設定を選択します。

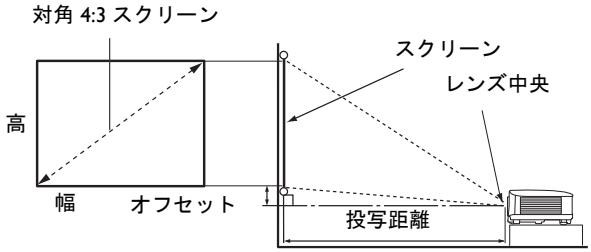
リモコンの **QUICK INSTALL** を使ってもこのメニューにアクセスできます。

# スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定（該当する場合）、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

## 投写サイズ

### MX604/MX604w




• スクリーンの縦横比は 4:3、投写画像の縦横比は 4:3

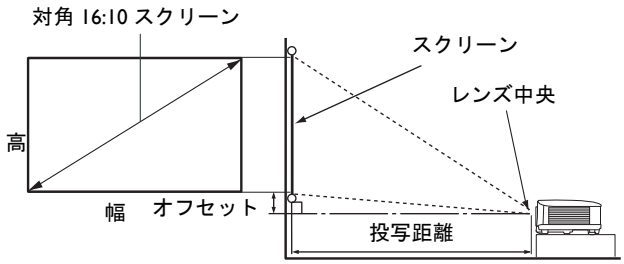
| スクリーンサイズ | | | | 投写距離 (mm) | | | オフセット (mm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対角 | | 高 (mm) | 幅 (mm) | 最短距離 | 平均 | 最長距離 | |
| インチ | mm | | | （最大ズーム） | | （最小ズーム） | |
| 35 | 889 | 533 | 711 | 1394 | 1462 | 1529 | 53 |
| 40 | 1016 | 610 | 813 | 1593 | 1670 | 1748 | 61 |
| 50 | 1270 | 762 | 1016 | 1991 | 2088 | 2184 | 76 |
| 60 | 1524 | 914 | 1219 | 2390 | 2505 | 2621 | 91 |
| 80 | 2032 | 1219 | 1626 | 3186 | 3341 | 3495 | 122 |
| 100 | 2540 | 1524 | 2032 | 3983 | 4176 | 4369 | 152 |
| 120 | 3048 | 1829 | 2438 | 4779 | 5011 | 5243 | 183 |
| 150 | 3810 | 2286 | 3048 | 5974 | 6264 | 6553 | 229 |
| 200 | 5080 | 3048 | 4064 | 7965 | 8352 | 8738 | 305 |
| 220 | 5588 | 3353 | 4470 | 8762 | 9187 | 9611 | 335 |
| 250 | 6350 | 3810 | 5080 | 9957 | 10439 | 10922 | 381 |
| 300 | 7620 | 4572 | 6096 | 11948 | 12527 | 13106 | 457 |

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 5011 mm となります。

測定した投写距離が 6200 mm であったとき、" 投写距離 (mm)" 欄の最も近い値は 6264 mm になります。同じ列を見ると、150 インチ（約 3.8 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

## MW605/MW605w




• スクリーンの縦横比は 16:10 であり、投写画像の縦横比は 16:10 です

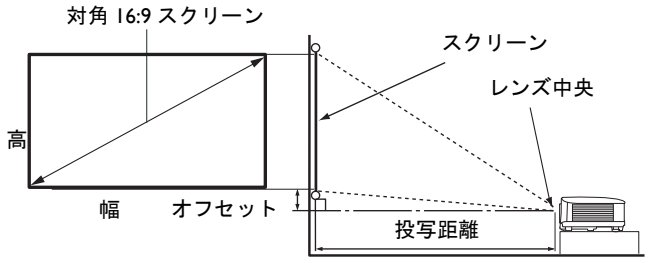
| スクリーンサイズ | | | | 投写距離 (mm) | | | オフセット (mm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対角 | | 高 (mm) | 幅 (mm) | 最短距離 | 平均 | 最長距離 | |
| インチ | mm | | | （最大ズーム） | | （最小ズーム） | |
| 35 | 889 | 471 | 754 | 1168 | 1225 | 1282 | 0 |
| 40 | 1016 | 538 | 862 | 1335 | 1400 | 1465 | 0 |
| 50 | 1270 | 673 | 1077 | 1669 | 1750 | 1831 | 0 |
| 60 | 1524 | 808 | 1292 | 2003 | 2100 | 2197 | 0 |
| 80 | 2032 | 1077 | 1723 | 2671 | 2800 | 2929 | 0 |
| 100 | 2540 | 1346 | 2154 | 3339 | 3500 | 3662 | 0 |
| 120 | 3048 | 1615 | 2585 | 4006 | 4200 | 4394 | 0 |
| 150 | 3810 | 2019 | 3231 | 5008 | 5250 | 5492 | 0 |
| 200 | 5080 | 2692 | 4308 | 6677 | 7000 | 7323 | 0 |
| 220 | 5588 | 2962 | 4739 | 7345 | 7700 | 8056 | 0 |
| 250 | 6350 | 3365 | 5385 | 8346 | 8750 | 9154 | 0 |
| 300 | 7620 | 4039 | 6462 | 10016 | 10500 | 10985 | 0 |

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 4200 mm となります。

測定した投写距離が 5200 mm であったとき、" 投写距離 (mm)" 欄の最も近い値は 5250 mm になります。同じ列を見ると、150 インチ（約 3.8 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

## MH606/MH606w




• スクリーンの縦横比は 16:9、投写画像の縦横比は 16:9

| スクリーンサイズ | | | | 投写距離 (mm) | | | オフセット (mm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対角 | | 高 (mm) | 幅 (mm) | 最短距離 | 平均 | 最長距離 | |
| インチ | mm | | | （最大ズーム） | | （最小ズーム） | |
| 35 | 889 | 436 | 775 | 1154 | 1213 | 1271 | 35 |
| 40 | 1016 | 498 | 886 | 1319 | 1386 | 1452 | 40 |
| 50 | 1270 | 623 | 1107 | 1649 | 1732 | 1815 | 50 |
| 60 | 1524 | 747 | 1328 | 1979 | 2079 | 2178 | 60 |
| 80 | 2032 | 996 | 1771 | 2639 | 2772 | 2905 | 80 |
| 100 | 2540 | 1245 | 2214 | 3299 | 3465 | 3631 | 100 |
| 120 | 3048 | 1494 | 2657 | 3958 | 4158 | 4357 | 120 |
| 150 | 3810 | 1868 | 3321 | 4948 | 5197 | 5446 | 149 |
| 200 | 5080 | 2491 | 4428 | 6597 | 6929 | 7261 | 199 |
| 220 | 5588 | 2740 | 4870 | 7257 | 7622 | 7987 | 219 |
| 250 | 6350 | 3113 | 5535 | 8246 | 8661 | 9077 | 249 |
| 300 | 7620 | 3736 | 6641 | 9896 | 10394 | 10892 | 299 |

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 4158 mm となります。

測定した投写距離が 5200 mm であったとき、" 投写距離 (mm)" 欄の最も近い値は 5197 mm になります。同じ列を見ると、150 インチ（約 3.8 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

# プロジェクターの取り付け

プロジェクターを取り付ける場合は、BenQ プロジェクター専用の取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

BenQ プロジェクター以外の取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

## プロジェクターを取り付ける前に

• BenQ プロジェクター専用取り付けキットは、BenQ プロジェクターを購入されたショップでご購入いただけます。

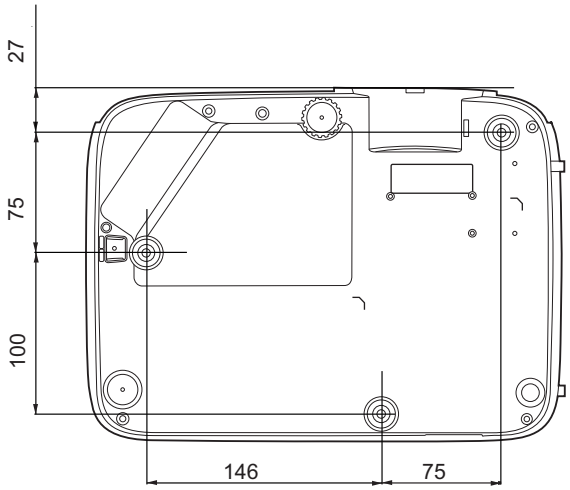
• また別途 Kensington ロックをお求めになり、プロジェクターの Kensington ロックスロットと取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦め

します。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

- プロジェクターの取り付けは、販売店にご依頼ください。お客様ご自身でプロジェクターを取り付けると、落下するなどしてケガの原因となります。
- 地震などの際にプロジェクターが落下しないように、正しい手順で設置してください。
- BenQ 製以外の取り付けキットを使用して取り付けた場合は、製品が故障しても保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 天井 / 壁に取り付ける場合は、周囲の温度にご注意ください。ヒーターを使用する場合は、天井 / 壁周辺の温度が予想以上に高くなる場合があります。
- トルク範囲については、取り付けキットの取り扱い説明書をお読みください。推奨範囲を超えてトルクを締め付けると、プロジェクターの故障の原因となり、結果的に落下する場合があります。
- いつでも簡単にプロジェクターをシャットダウンできるように、コンセントが手に届く位置にあるか確認してください。

## 天井 / 壁取り付け図

天井 / 壁取り付けネジ：M4
（最長 = 25 mm、最短 = 20 mm）



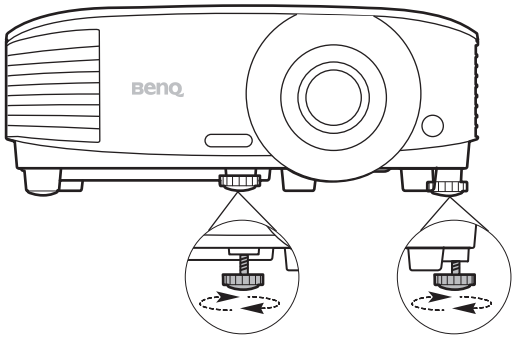

単位：mm

# 投写画像の調整

## 投写角度の調整

プロジェクターが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。調整脚を回して、水平角度を微調整します。

高さ調整脚を収納するには、背面調整脚のネジを反対方向に回します。



ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

## 画像の自動調整

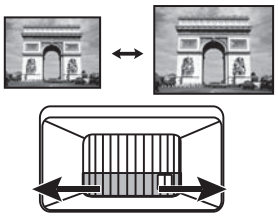
場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、**AUTO** を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。

下図のように、現在のソース情報がスクリーンの隅に 3 秒間表示されます。

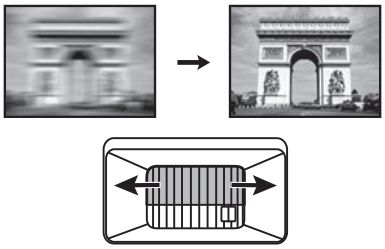
この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。

## 画像サイズと明瞭さの微調整

投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



フォーカスリングを回して焦点を合わせます。



## キーストーンの補正

キーストーンとは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまう状態のことです。

これを修正するには、これらいずれかの手順に従って、手動で補正する必要があります。

1. 次のいずれかの操作を実行すると、キーストーン補正ページが表示されます。
   - プロジェクターかリモコンの △/▽ を押します。
   - リモコンの **QUICK INSTALL** を押します。▼ を押して **キーストーン**を選択し、次に **OK** を押してください。
   - **詳細設定メニュー - ディスプレイ** > **キーストーン**を選択し、**OK** を押します。

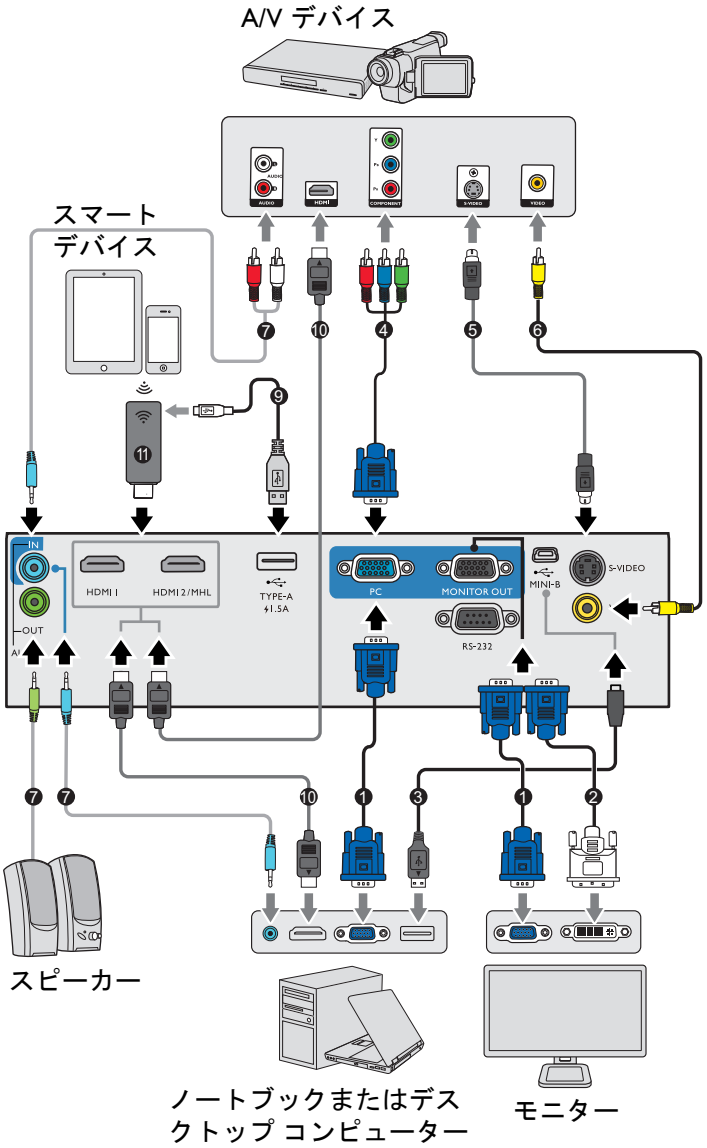



2. **キーストーン**補正ページが表示されたら △ を押すと、画像の上辺のキーストーンが補正されます。▽ を押すと、画像の下部のキーストーンが補正されます。

# 接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

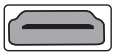
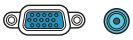
1. 接続を行う前にすべてのデバイスの電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。




| | |
|---|---|
| 1 | VGA ケーブル |
| 2 | VGA ― DVI-A ケーブル |
| 3 | USB ケーブル |
| 4 | コンポーネントビデオ ― VGA (D-Sub) アダプターケーブル |
| 5 | S ビデオ ケーブル |
| 6 | ビデオケーブル |
| 7 | オーディオ ケーブル |
| 8 | オーディオ L/R ケーブル |
| 9 | HDMI ワイヤレスドングルの電源ポートに接続する USB ケーブル（A-Micro B タイプ） |
| 10 | HDMI ケーブル |
| 11 | HDMI ワイヤレス ハードウェアキー |

- 上に示す接続図のケーブルは、本機に付属していません（詳細は、7 ページの「パッケージ内容」を参照してください。）ケーブルはお近くの電気店でお求めください。
- 接続図は参照用です。プロジェクターの背面にある接続ジャックは、プロジェクターのモデル毎に異なります。
- 多くのノートブックでは、プロジェクターを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は FN + モニターの記号が付いた機能キーを同時に押すと、外付けディスプレイをオン / オフにすることができます。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートブックのキーの組み合わせについては、ノートブックの説明書をお読みください。
- 正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

いずれかの方法でプロジェクターとビデオソース装置を接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。

| 端末 | | 画質 |
|---|---|---|
| HDMI/MHL |  | 最高 |
| コンポーネントビデオ（RGB 入力経由） |  | かなり良い |
| S-Video |  | 良い |
| Video |  | 標準 |

## オーディオ接続

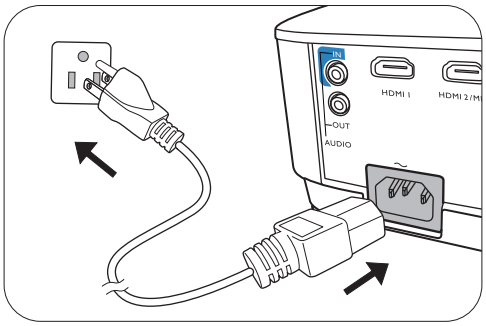
このプロジェクターにはビジネス用途に限り使用できる、データプレゼンテーションに組み込まれた基本的な音声機能を再生できるようにモノラル スピーカーが内蔵されています。このスピーカーはホームシアターやホームシネマなどに求められるステレオオーディオを再生するために設計されたものではありません。ステレオオーディオ入力は、プロジェクターのスピーカーを介して一般的なモノラルオーディオ出力にミキシングされます。

**AUDIO OUT** ジャックを接続すると、内蔵スピーカーは無音になります。

- このプロジェクターではステレオオーディオ入力が接続されていても、ミックスモノラルオーディオしか再生できません。
- 正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

# 操作

## プロジェクターの起動




1. 電源コードを繋ぎます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電流が流れると、プロジェクターの電源インジケーターがオレンジ色に点灯します。
2. プロジェクターの ⏻、またはリモコンの | を押すと、プロジェクターが起動します。電源インジケーターが緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

   起動処理には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップロゴが表示されます。

   必要であれば、フォーカスリングを使って画像の鮮明さを調整してください。




3. 初めてプロジェクターを起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。
4. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを押して 6 桁のパスワードを入力してください。23 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
6. プロジェクターが入力信号の検索を開始します。現在スキャン中の入力信号が表示されます。プロジェクターが有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで「信号なし」のメッセージが表示され続けます。

   入力信号を選択するには、**SOURCE** を押してください。24 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。

- 付属のアクセサリ（電源コードなど）を使って、感電や火災などの危険を防止してください。
- プロジェクターが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、約 90 秒間冷却ファンが作動します。

---

- セットアップ ウィザードのスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。
- 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージがバックグラウンド スクリーンに表示されます。プロジェクターの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。46 ページの「タイミングチャート」を参照してください。
- 3 分たっても信号が検出されなければ、プロジェクターは自動的にエコモードに入ります。

# メニューの使用方法

このプロジェクターは、2 種類のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

- **基本** OSD メニュー：主要なメニュー機能を選択できます。（26 ページの「基本メニュー」）を参照してください）
- **詳細設定** OSD メニュー：フルメニュー機能を選択できます。（28 ページの「詳細設定メニュー」）を参照してください）

OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンで **MENU** を押します。

- プロジェクターかリモコンの矢印キー (▲/▼/◄/►) を使って、メニューアイテムを移動します。
- プロジェクターかリモコンの **OK** を押して、メニューをオンにします。

初めてプロジェクターをお使いになる際は（初期設定終了後）、基本 OSD メニューが表示されます。

下の OSD スクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

以下に**基本** OSD メニューの概要を紹介します。

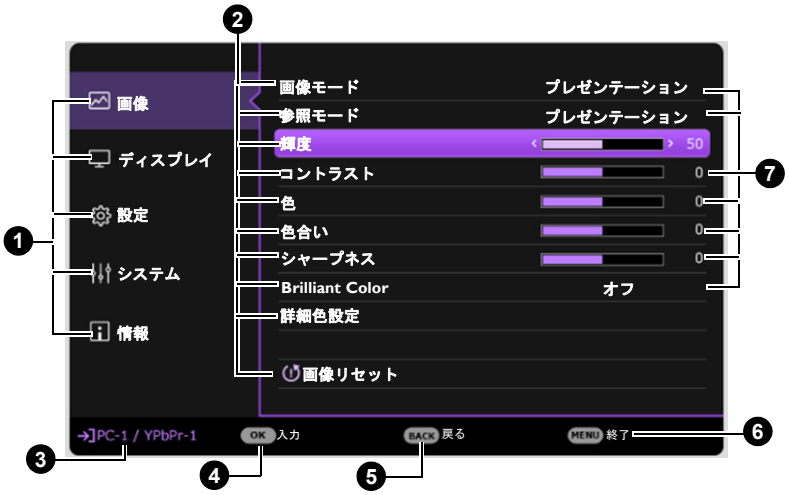



| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | メニュータイプ | 4 | **OK** を押すとメニューが開きます。 |
| 2 | メインメニュー | 5 | 状態 |
| 3 | 現在の入力信号 | 6 | 前のページに戻ったり、終了したりするには、**MENU** を押します。 |

**基本** OSD メニューから**詳細設定** OSD メニューに切り換えるには、次の手順に従ってください。

1. **基本 メニュー** > **メニュータイプ**を選択します。
2. **OK** を押した後、▲/▼ を押して**詳細設定**を選択します。次回プロジェクターに電源を入れるとき、**MENU** を押すと**詳細設定** OSD メニューにアクセスできるようになります。

以下に**詳細設定** OSD メニューの概要を紹介します。




| | | | |
|---|---|---|---|
| ❶ | メインメニューとメインメニューのアイコン | ❺ | 前のページに戻るには、**BACK** を押します。 |
| ❷ | サブメニュー | ❻ | 前のページに戻ったり、終了したりするには、**MENU** を押します。 |
| ❸ | 現在の入力信号 | ❼ | 状態 |
| ❹ | **OK** を押すとメニューが開きます。 | | |

同様に、**詳細設定** OSD メニューから**基本** OSD メニューに切り換えるには、次の手順に従ってください。

1. **詳細設定メニュー - システム** > **メニュー設定**を選択し、**OK** を押します。
2. **メニュータイプ**および **OK** を選択します。
3. ▲/▼ を押して**基本**を選択します。次回プロジェクターに電源を入れるとき、**MENU** を押すと**基本** OSD メニューにアクセスできるようになります。

# プロジェクターの保護

## セキュリティケーブルロックの使い方

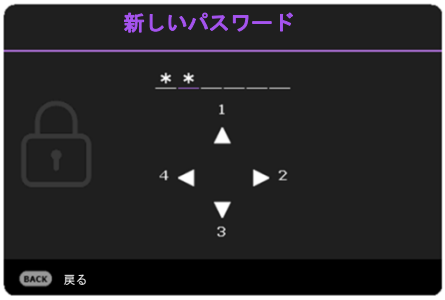
盗難防止のために、プロジェクターは安全な場所に設置してください。または Kensington ロックなどのロックを購入して、プロジェクターを安全に保護してください。Kensington ロック スロットはプロジェクターの背面にあります。8 ページの項目 20 をご覧ください。

Kensington ケーブルロックは通常キーとロックを組み合わせたものです。ご使用方法については、ロックの説明書を参照してください。

## パスワード機能を使用する

### パスワードの設定

1. **詳細設定メニュー - 設定** > **セキュリティ設定**を選択します。**OK** を押します。すると**セキュリティ設定**ページが表示されます。
2. **パスワードの変更**を選択し、**OK** を押します。
3. 4 つの矢印キー（▲、►、▼、◄）はそれぞれ 4 つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを押して、6 桁のパスワードを入力して設定します。
4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
   パスワードの設定が完了すると、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは**セキュリティ設定**ページに戻ります。

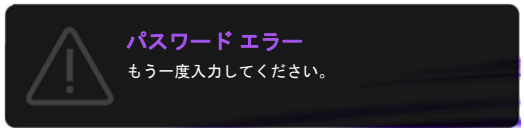



5. **電源オンロック**機能を有効にするには、▲/▼ を押して、**電源オンロック**を選択し、次に ◄/► を押して**オン**を選択してください。再度同じパスワードを入力します。

- 入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。
- 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。

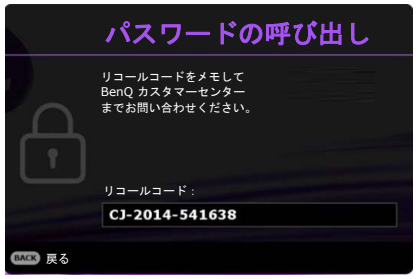
### パスワードを忘れた場合

間違ったパスワードを入力すると、パスワードエラーメッセージが表示され、次に「**現在のパスワードの入力**」というメッセージが表示されます。パスワードを完全に忘れてしまった場合は、パスワードのリコールを行ってください。24 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。




パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。

### パスワードの呼び戻しを行うには




1. **AUTO** を 3 秒間押し続けます。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、サポートセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

### パスワードの変更

1. **詳細設定メニュー - 設定** > **セキュリティ設定** > **パスワードの変更**を選択します。
2. **OK** を押します。すると**「現在のパスワードの入力」**というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
   - パスワードが正しければ、**「新しいパスワード」**というメッセージが表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、**「現在のパスワードの入力」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。

### パスワード機能を無効にする

パスワード保護を解除するには、**詳細設定メニュー - 設定** > **セキュリティ設定** > **電源オンロック**を選択し、◄/► を押して**オフを選択します。**すると**「現在のパスワードの入力」**というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

- パスワードが正しく入力されると、OSD メニューの**セキュリティ設定**ページに戻ります。次回プロジェクターをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。
- パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、**「現在のパスワードの入力」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。

パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。

## 入力信号の切り替え




プロジェクターは同時に複数の装置に接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台です。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに自動的に信号を検出させるためには、**詳細設定メニュー - 設定** > **自動ソース検索**が**オン**になっていることを確認してください。

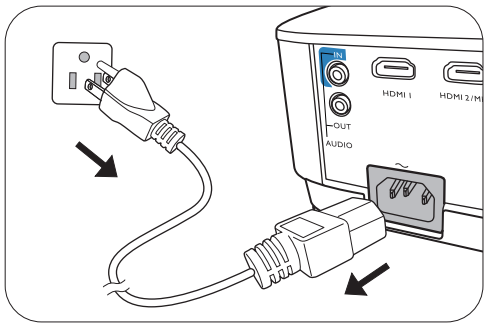
ソースの選択：

1. **SOURCE** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **OK** を押します。

   信号が検出されたら、選択したソース情報が画面の隅に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

- 入力信号を変えると、そのたびに投写画像の輝度も変わります。
- 最高の画質を得るには、プロジェクターのネイティブ解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、「縦横比」の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。26 ページの「縦横比」を参照してください。

## プロジェクターをシャットダウンする




1. プロジェクターの ⏻ を押すか、リモコンの ⏻ を押すと、確認を促すメッセージが表示されます。数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再び ⏻ または ⏻ を押してください。電源インジケーターがオレンジ色に点滅して投写ランプが消灯した後、プロジェクターを冷却するためにファンが約 90 秒間動作を続けます。
3. 冷却処理が完了したら、電源インジケーターがオレンジに点灯し、ファンが停止します。電源コードをコンセントから抜きます。

- ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- 冷却時間を短縮するには、クイッククーリング機能を有効にすることもできます。33 ページの「クイック冷却」を参照してください。
- プロジェクターを切った直後に再び電源を入れると、高熱によりランプの寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。
- ランプの寿命は、環境条件と使用条件により異なります。

## 直接電源オフ

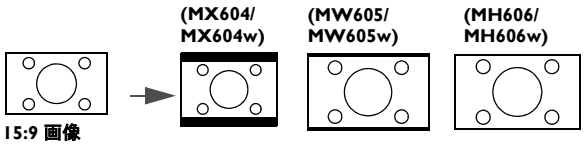
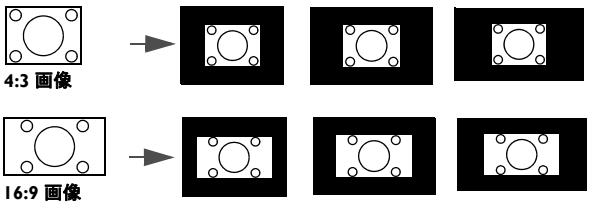
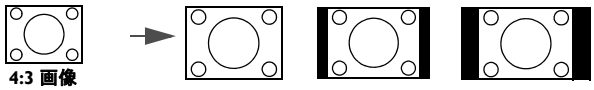
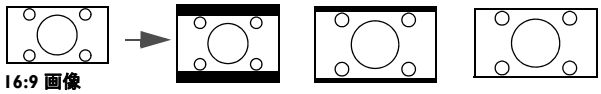
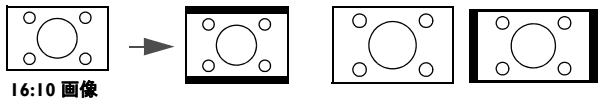
AC 電源コードはプロジェクターをオフにした直後に抜くことができます。ランプを保護するために、約 10 分間待ってからプロジェクターを再起動してください。プロジェクターを再起動しようとすると、冷却のためにファンが数分間作動する場合があります。このような場合は、ファンが停止したら再び ⏻ か | を押してプロジェクターを起動してください。このとき電源インジケーターがオレンジ色に点灯します。

# メニューの操作

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプと使用するプロジェクターのモデルにより異なります。

メニューアイテムはプロジェクターが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクターに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

## 基本メニュー

| | |
|---|---|
| **輝度** | 値を高くするほどイメージの輝度が増加します。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。 |
| **縦横比** | 入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するいくつかのオプションがあります。<br>• **自動** : 画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。<br><br>• **実寸** : 画像はその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。<br><br>• **4:3** : スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。<br><br>• **16:9** : スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。<br><br>• **16:10** : スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。<br> |

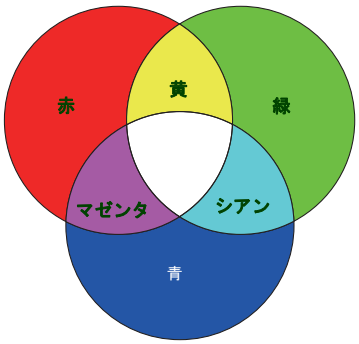
| | |
|---|---|
| **画像モード** | このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。<br>• **明るい**：画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。<br>• **プレゼンテーション**：プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。<br>• **sRGB**：RGB の純度を最高に上げて、輝度設定に関係なく実物のようなリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや AutoCAD などの描画アプリケーションを見るのに適しています。<br>• **シネマ**：彩度とコントラストが最適なバランスであり、明度が低い、全くの暗室（映画館など）でムービーを楽しむのに適しています。<br>• **3D**：3D 画像および 3D ビデオ クリップを再生するのに適しています。<br>• **ユーザー 1/ ユーザー 2**：現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。28 ページの「参照モード」を参照してください。 |
| **音量** | サウンド レベルを調整します。 |
| **ランプモード** | 38 ページの「設定 ランプモード」を参照してください。 |
| **情報** | • **ネイティブ解像度**：このプロジェクターのネイティブ解像度を表示します。<br>• **検出された解像度**：入力信号のネイティブ解像度を表示します。<br>• **ソース**：現在の信号ソースを表示します。<br>• **画像モード**：**画像**メニューで選択したモードを表示します。<br>• **ランプモード**：**ランプ設定**メニューで選択したモードを表示します。<br>• **3D フォーマット**：現在の 3D モードが表示されます。<br>• **カラーシステム**：入力システムフォーマットを表示します。<br>• **ランプ使用時間**：ランプの使用時間数が表示されます。<br>• **ファームウェアバージョン**：プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。 |
| **メニュータイプ** | **詳細設定** OSD メニューを選択します。21 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。 |

# 詳細設定メニュー

## 画像

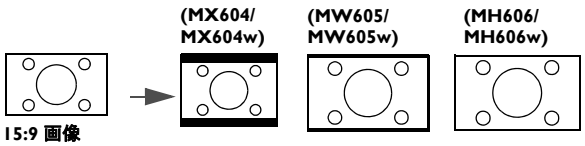
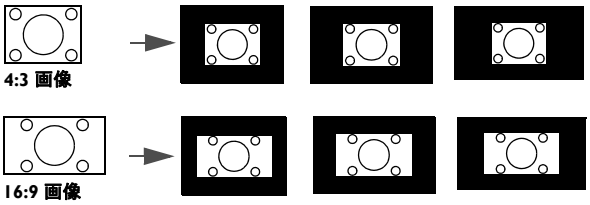
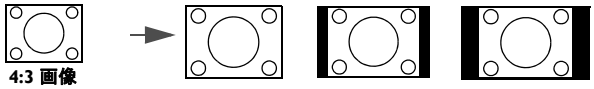
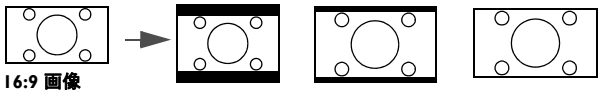
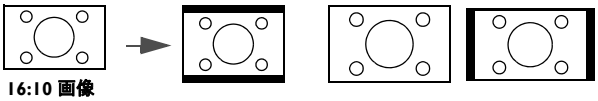
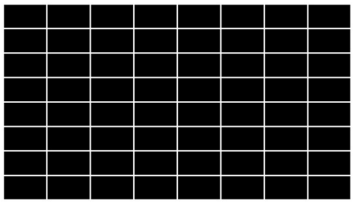
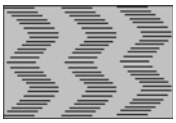
| | |
|---|---|
| **画像モード** | このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。<br>• **明るい**：画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。<br>• **プレゼンテーション**：プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。<br>• **sRGB**：RGB の純度を最高に上げて、輝度設定に関係なく実物のようなリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや AutoCAD などの描画アプリケーションを見るのに適しています。<br>• **シネマ**：彩度とコントラストが最適なバランスであり、明度が低い、全くの暗室（映画館など）でムービーを楽しむのに適しています。<br>• **3D**：3D 画像および 3D ビデオ クリップを再生するのに適しています。<br>• **ユーザー 1/ ユーザー 2**：現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。28 ページの「参照モード」を参照してください。 |
| **参照モード** | 現在有効なピクチャモードが目的に合致しない場合は、2 種類のモードをユーザー定義することができます。ピクチャモードの 1 つ（**ユーザー 1/ ユーザー 2** 以外）をスターティングポイントとして使用し、そこから設定をカスタマイズすることができます。<br>1. **画像** > **画像モード**を選択します。<br>2. ◀/▶ を押して**ユーザー 1** または**ユーザー 2** を選択します。<br>3. ▼ を押して**参照モード**を選択し、◀/▶ を押して用途に最も合ったピクチャモードを選択してください。<br>4. ▼ を押して変更したいメニューアイテムを選択し、値を調整します。調整内容によって選択したユーザーモードが定義されます。 |
| **輝度** | 値を高くするほどイメージの輝度が増加します。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。 |
| **コントラスト** | 値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。 |
| **色** | 設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。 |
| **色合い** | 値を高くするほど緑がかった画像になります。値を低くするほど赤みがかった画像になります。 |
| **シャープネス** | 値を高くするほど画像がシャープになります。 |

| | |
|---|---|
| **Brilliant Color** | この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質なイメージを表示したい場合は、**オン**を選択してください。<br>**オフ**に設定されている場合は、**色温度**機能は使用できません。 |
| **詳細色設定** | **色温度**<br>いくつかのプリセット色温度設定が使用できます。設定は、選択した入力タイプによって異なります。<br>• **標準**：白の色合いを通常に保ちます。<br>• **低い**：画像を青みがかった白で表示します。<br>• **高い**：画像を赤みがかった白で表示します。 |
| | **色温度の微調整**<br>次のオプションを調整すると、任意の色温度を設定できます。<br>• **R ゲイン /G ゲイン /B ゲイン**：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。<br>• **R オフセット /G オフセット /B オフセット**：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。 |

<table>
<tr><td rowspan="2">詳細色設定</td><td>色管理<br>この機能を使うと、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。<br>• 原色：R（赤）、G（緑）、B（青）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（黄色）の中から選択します。<br>• 色相：範囲を広げると、隣り合う 2 色のより広い範囲の色が含まれます。各色がどのように関連し合っているかについては、図を参照してください。<br>例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。<br>

<br>• 彩度：見やすいように値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。<br>例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。<br>彩度 はビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。<br>• ゲイン：見やすいように値を調整してください。選択した原色のコントラスト レベルが影響を受けます。調整内容は直ちに画像に反映されます。</td></tr>
<tr><td>壁の色<br>白以外でペイントされた壁に画像を投写するような場合は、入力源の色と投写画像の色の違いを補正するために壁の色機能を使うことができます。あらかじめ調整された色には次のようなものがあります：薄黄色、ピンク、薄緑、青、黒板。</td></tr>
<tr><td>画像リセット</td><td>画像メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。</td></tr>
</table>

## ディスプレイ

| | |
|---|---|
| **縦横比** | 入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するいくつかのオプションがあります。<br>• **自動**：画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。<br><br>• **実寸**：画像はその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。<br><br>• **4:3**：スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。<br><br>• **16:9**：スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。<br><br>• **16:10**：スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。<br> |
| **キーストーン** | 画像のキーストーンを補正します。17 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。 |
| **テストパターン** | イメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。<br> |
| **PC とコンポーネント YPbPr の調整** | • **位相**：画像の歪みを減少させるためにクロック位相を調整します。この機能は PC 信号（アナログ RGB）または YPbPr 信号が選択されている場合にしか使用できません。<br><br>• **水平サイズ**：イメージの幅を調整します。この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。 |
| **位置** | 位置調整ページが開きます。投写画像を移動させるには、方向矢印キーを使用します。この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。 |

| | |
|---|---|
| **3D** | このプロジェクターには、画像に深みを与えることで 3D ムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける 3D 機能が搭載されています。3D 映像をご覧になるには、3D メガネを着用する必要があります。<br>• **3D モード**：デフォルト値は**オフ**です。3D コンテンツを検出するとき、プロジェクターに自動的に適切な 3D フォーマットを選択させる場合は、**自動**を選択します。プロジェクターが 3D フォーマットを識別できない場合は、▲/▼ を押して **上 - 下**、**フレームシーケンシャル**、**フレームパッキング**、**サイドバイサイド** の中から 3D モードを選択してください。<br><br>3D 機能が有効なとき：<br>• 投写画像の輝度レベルが下がります。<br>• 次の設定は調整できません：**画像モード**、**参照モード**。<br>• **キーストーン**は一定角度内でしか調整できません。<br>• **3D 逆同期**：画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。<br>• **3D 設定を適用**：3D 設定を保存した後は、保存した 3D 設定を選択することでそれを適用するかどうかを決定できます。適用後は、入力 3D コンテンツが保存した 3D 設定と一致する場合、プロジェクターは自動的に再生を開始します。<br><br>保存されたデータを持つ 3D 設定のみ使用可能です。<br>• **3D 設定を保存**：調節後に 3D コンテンツを表示できたらこの機能を有効にして、現在の 3D 設定を保存するために 3D 設定を選択することができます。 |
| **HDMI フォーマット** | 適切なカラーフォーマットを選択し、表示画質を最適化します。<br>• **自動**：受信した HDMI 信号のカラースペースおよびグレイレベルを自動的に選択します。<br>• **RGB 制限あり**：制限付き範囲の RGB 16-235 を使用します。<br>• **RGB フル**：フル範囲の RGB 0-255 を使用します。<br>• **YUV 制限あり**：制限付き範囲の YUV 16-235 を使用します。<br>• **YUV フル**：フル範囲の YUV 0-255 を使用します。 |
| **デジタルズーム** | 投写イメージのサイズを拡大または縮小します。**デジタルズーム**ページが表示されたら、**ZOOM+/ZOOM-** を押すと 画像を任意のサイズに縮小 / 拡大できます。プロジェクターまたはリモコンの矢印キー（▲、▼、◀、▶）を押して、画像をナビゲートします。<br><br>画像は拡大しなければナビゲートできません。詳細を検出する場合は、さらに拡大することができます。 |

| | |
|---|---|
| **ディスプレイリセット** | **ディスプレイ**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。 |

## 設定

| | |
|---|---|
| **プロジェクターの設置** | 12 ページの「設置場所の選択」を参照してください。 |
| **リモート受信機** | プロジェクターのすべてのリモート受信装置、または特定のリモート受信装置を有効にします。 |
| **自動ソース検索** | プロジェクターに信号を自動検出させるには |
| **自動信号調整** | • **オン**：PC 信号（アナログ RGB）を選択し、**AUTO** を押したとき、表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。<br>• **オフ**：**AUTO** を押すと、プロジェクターが応答しなくなります。 |
| **ランプ設定** | • **ランプモード**：38 ページの「設定 ランプモード」を参照してください。<br>• **ランプタイマーのリセット**：41 ページの「ランプタイマーをリセットします」を参照してください。<br>• **ランプタイマー**：ランプの使用時間数が表示されます。 |
| **操作設定** | **クイック冷却**：<br>**オン**を選択するとこの機能が有効になり、プロジェクターの冷却時間が通常の 90 秒よりも短くなり 15 秒程度で冷却が終了します。 |
| | **画面オフタイマー**<br>ブランク機能が有効になっているとき、画像をブランクにしておく時間を選択します。ここで設定した時間が経過すると、画像は元に戻ります。プリセットの時間がこれから行う用途に合わない場合は、**無効**を選択してください。**画面オフタイマー**の有効 / 無効に関わらず、プロジェクターかリモコンのほとんどのキーを押すと直ちに画像を戻すことができます。 |
| | **通知メッセージ**<br>アラーム メッセージをオンまたはオフにします。 |

| | |
|---|---|
| **操作設定** | **高地モード**<br>海抜 1500 m ～ 3000 m、気温 0 °C ～ 30 °C の環境で本製品を使用する場合は、**高地モード**を使用されるようお勧めします。<br>「**高地モード**」を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。<br>上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。<br>高度 0 m ～ 1500 m、温度 0 °C ～ 35 °C の範囲内では**高地モード**は使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクターが過度に冷却されてしまいます。 |
| | **電源オン / オフの設定**<br>• **ダイレクト電源オン**：電源コードから電源が供給されると、プロジェクターは自動的にオンになります。<br>• **信号入力時電源オン**：プロジェクターがスタンバイ モードになっており、5 V の VGA 信号または HDMI 信号が検出されると、**電源**または **ON** を押さなくてもプロジェクターを直接オンにするかどうかを設定します。<br>• **自動電源オフ**：指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。<br>• **電源オフタイマー**：自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。 |
| | **インスタントリスタート**<br>プロジェクターをオフにしてから 90 秒以内に再起動することができます。 |
| **セキュリティ設定** | 23 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。 |
| **ボーレート** | 適切な RS-232 ケーブルを使ってプロジェクターをコンピューターに接続し、プロジェクターのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。この機能は専門の技術者用に設けられています。 |
| **HDMI イコライザー** | HDMI 信号用にイコライザが取得した設定を調整します。値を高くするほど効果が強くなります。プロジェクターに複数の HDMI ポートがある場合は、値を調整する前に HDMI ポートを選択してください。 |
| **USB 電源スイッチ** | QCast ミラー HDMI ワイヤレスドングル用に「Type A コネクター」5 V 電源出力を有効または無効にします。 |
| **設定をリセット** | **設定**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。 |

## システム

| | |
|---|---|
| **言語** | オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。 |
| **待機設定** | • **モニター出力**：このプロジェクターはスタンバイモードで、**PC** と **MONITOR OUT** ジャックが正しく装置と接続されている場合、VGA 信号を出力できます。<br>• **オーディオパススルー**：プロジェクターがスタンバイ モードで、相当するジャックがデバイスに正しく接続されている場合は、音を再生できます。◀/▶ を押して使用したいソースを選択してください。接続方法については、18 ページの「接続」を参照してください。 |
| **背景設定** | • **背景**：プロジェクターの背景色を設定します。<br>• **起動画面**：プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。 |
| **メニュー設定** | • **メニュータイプ**：**基本** OSD メニューを選択します。<br>• **メニュー表示時間**：最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。 |
| **オーディオ設定** | • **ミュート**：サウンドを一時的に無音にできます。<br>• **音量**：サウンド レベルを調整します。<br>• **電源オン / オフ音**：プロジェクターを起動またはシャットダウンするときのサウンドをオン / オフにします。<br>**電源オン / オフ音**を変更するには、ここで**オン**または**オフ**を設定する以外に方法はありません。無音にしたり、音量を変更したりしても、**電源オン / オフ音**には影響しません。 |
| **クローズドキャプション** | • **クローズドキャプション有効**：選択した入力信号にクローズド キャプションがある場合は、**オン**を選択すると機能が有効になります。<br>キャプション：TV 番組や動画のダイアログ、ナレーション、サウンド効果が画面に表示されます（TV 番組表には通常「CC」と表記されます）。<br>• **キャプションバージョン**：クローズド キャプション モードを選択します。キャプションを表示するには、**CC1**、**CC2**、**CC3**、**CC4**（**CC1** はお住まい地域の第一言語でキャプションを表示します）を選択します。 |
| **初期値** | すべての設定を工場出荷時の値に戻します。<br>次の設定は現在の設定値のまま維持されます：**キーストーン**、**プロジェクターの設置**、**ランプタイマー**、**高地モード**、**セキュリティ設定**、**ボーレート**、**HDMI イコライザー**。 |
| **システムをリセット** | **システム**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。 |

## 情報

| | |
|---|---|
| 情報 | • **ネイティブ解像度**：このプロジェクターのネイティブ解像度を表示します。<br>• **検出された解像度**：入力信号のネイティブ解像度を表示します。<br>• **ソース**：現在の信号ソースを表示します。<br>• **画像モード**：**画像**メニューで選択したモードを表示します。<br>• **ランプモード**：**ランプ設定**メニューで選択したモードを表示します。<br>• **3D フォーマット**：現在の 3D モードが表示されます。<br>• **カラーシステム**：入力システムフォーマットを表示します。<br>• **ランプ使用時間**：ランプの使用時間数が表示されます。<br>• **ファームウェアバージョン**：プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。 |

# メンテナンス

## プロジェクターのお手入れ

### レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクターをオフにして完全に冷却してください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

### プロジェクター ケースのお手入れ

ケースのお手入れを行う前に、25 ページの「プロジェクターをシャットダウンする」に記載されている正しい手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

### プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、44 ページの「仕様」を参照するか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

### プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

## ランプについて

### ランプ時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

ランプ使用時間 =（**標準**モードで使用した時間）+（**省電力**モードで使用した時間）+ **スマートエコ**モードで使用した時間）+（**LampSave** モードで使用した時間）

合計（相当）ランプ時間 = 3 x（**標準**モードで使用した時間）+ 1.5 x（**省電力**モードで使用した時間）+ 1.5 x（**スマートエコ**モードで使用した時間）+ 1 x（**LampSave** モードで使用した時間）

ランプ時間を確認する：

1. **詳細設定メニュー - 設定** > **ランプ設定**を選択し、**OK** を押します。すると**ランプ設定**ページが表示されます。
2. ▼ を押して**ランプタイマー**を選択し、**OK** を押してください。すると**ランプタイマー**情報が表示されます。

また、**情報**メニューではランプ時間情報を見ることもできます。

## ランプ寿命を延長する

• **ランプモード**を設定する

**詳細設定メニュー - 設定** > **ランプ設定** > **ランプモード**を選択し、モードの中から適切なランプ電源を選択します。

プロジェクターを**省電力**、**スマートエコ**または **LampSave** モードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。

| ランプモード | 説明 |
|---|---|
| **標準** | ランプを完全に明るくします。 |
| **省電力** | 明るさを下げて、ランプを長く使えるようにします。また、ファンのノイズも小さくなります。 |
| **スマートエコ** | コンテンツの輝度レベルによっては、表示品質を最適化しながら電力消費量を調整します。 |
| **LampSave** | コンテンツの輝度レベルによっては、ランプの寿命を延長しながらランプの強度を調整します。 |

• **自動電源オフ**を設定する

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

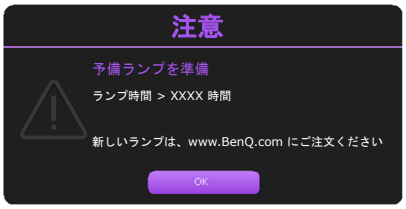
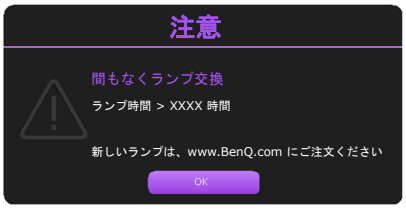
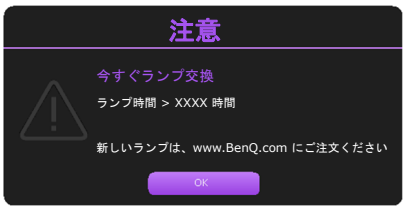
**自動電源オフ**を設定するには、**詳細設定メニュー - 設定** > **電源オン / オフの設定** > **自動電源オフ**を選択して ◀/▶ を押します。

## ランプを交換する時期

**ランプインジケーター**が赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付ける前に、お買い上げの販売店にお尋ねになる か、http://www.BenQ.com をご覧ください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

- 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。
- ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また明度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。
- ランプが過熱すると、**LAMP（ランプインジケーターライト）**と **TEMP（温度警告ライト）**が点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにランプまたは温度インジケーターライトが点灯する場合は、販売店、又はサポートセンターご相談ください。42 ページの「インジケーター」を参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

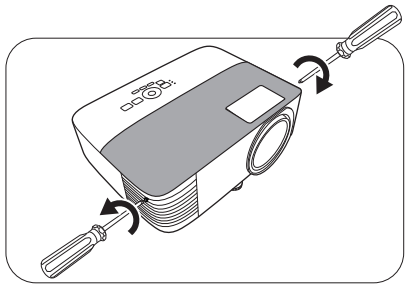
| | |
|---|---|
|  | 動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。**OK** を押すと、メッセージが消去されます。 |
|  | この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。<br>**OK** を押すと、メッセージが消去されます。 |
| <br> | プロジェクターを正常に動作させるには、ランプを交換してください。<br>**OK** を押すと、メッセージが消去されます。 |

上記のメッセージで「XXXX」の部分に表示される数字はモデルによって異なります。

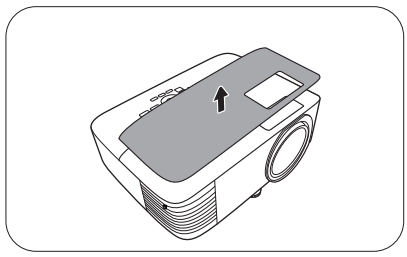
## ランプの交換

- 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
- 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクターを冷却してください。
- 割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。
- 指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプケースには触れないでください。
- このランプの中には水銀が入っています。使用済みのランプは、自治体の回収規則に従って廃棄してください。
- プロジェクターを最高の状態でご使用いただくために、交換用ランプとして指定されたプロジェクター用ランプを購入されることをお薦めします。
- 上下逆さに取り付けられているプロジェクターのランプを交換する場合は、ランプの破片で人体や目に負傷する危険性がありますので、ランプソケットの下には絶対に立たないでください。
- 破損したランプを処理するときには、部屋の通気をしっかりと行ってください。マスク、防護メガネ、ゴーグル、またはフェースシールドを着用になり、手袋など身体を保護するものも着用することをお勧めします。

1. 電源を切り、プロジェクターをコンセントから抜いてください。ランプがまだ熱い時には、ランプが冷却するまで約 45 分お待ちください。
2. ランプカバーをプロジェクターの側面に固定しているネジを緩めます。

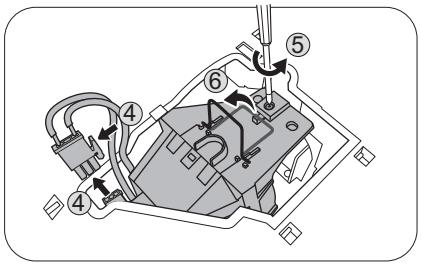


3. プロジェクターからランプカバーを外します。

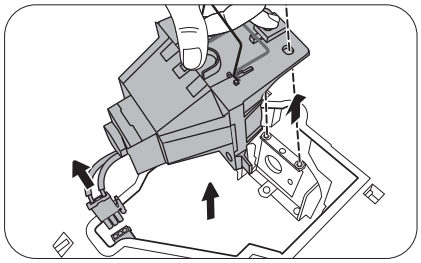


- ランプ カバーを開いた状態で電源を入れないでください。
- ランプとプロジェクターの間に指を入れないでください。プロジェクター内部の鋭利なパーツでケガをする場合があります。

4. ランプ コネクターを外します。
5. 内部ランプを固定しているネジを緩めます。
6. ハンドルを持ち上げます。

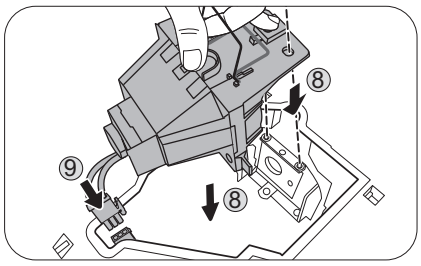



7. ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクターから引き出します。



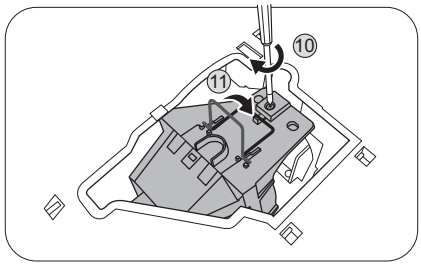
- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクター内に散乱します。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出す際は、プロジェクター内に手を入れないでください。プロジェクター内部の鋭利なパーツでケガをする場合があります。内部の光学コンポーネントに手を触れると、色が均等に表示されなくなったり、投写画像が歪んだりする場合があります。

8. 図に示す通り、新しいランプを挿入してください。ランプの端と 2 個の突起部分をプロジェクターに合わせてランプを少し押すと、正しい位置に固定されます。
9. ランプ コネクターを挿入します。



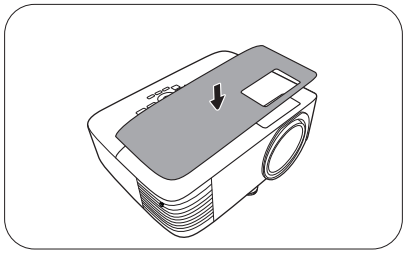
10. ランプを固定しているネジを締めます。

11. ハンドルをフラットに倒して、しっかりとロックしてください。

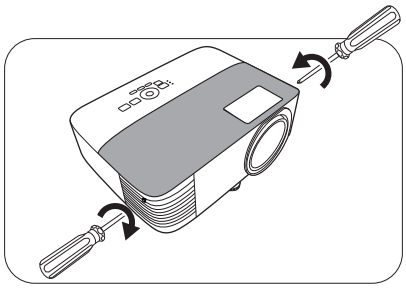



- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。

12. プロジェクターにランプ カバーを戻します。



13. ランプ カバーを固定するネジを締めます。



- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。

14. 電源を接続し、プロジェクターを再起動します。

## ランプタイマーをリセットします

15. スタートアップロゴの次にオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが表示されます。**詳細設定メニュー - 設定** > **ランプ設定**を選択し、**OK** を押します。すると**ランプ設定**ページが表示されます。**ランプタイマーのリセット**を選択し、**OK** を押します。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、**OK** を押します。するとランプ時間が「0」にリセットされます。

ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

## インジケーター

| ライト | | | 状態と説明 |
|---|---|---|---|
| POWER ○ | TEMP ○ | LAMP ○ | |
| **電源の状況** | | | |
|  |  |  | スタンバイ モードです。 |
|  |  |  | 電源を入れています。 |
|  |  |  | 通常動作状態です。 |
|  |  |  | 通常の電源オフ冷却プロセスです。 |
|  |  |  | ダウンロード。 |
|  |  |  | CW スタート失敗。 |
| **ランプの状況** | | | |
|  |  |  | 通常動作時にランプ エラー発生。 |
|  |  |  | ランプが点灯していません。 |
|  |  |  | ランプが切れました。 |
| **温度の状況** | | | |
|  |  |  | ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。 |
|  |  |  | ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。 |
|  |  |  | 温度 1 エラー（上限温度オーバー）。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | ○: **オフ** | : オレンジ色点灯<br>: オレンジ色点滅 | : 緑点灯<br>: 緑点滅 | : 赤点灯<br>: 赤点滅 |

# トラブルシューティング

### プロジェクターの電源がオンにならない。

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 電源コードから電源が来ていません。 | 電源コードが、プロジェクターの AC 電源ジャックと、コンセントに、正しく差し込まれていることを確認してください。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。 |
| 冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。 | 冷却プロセスが完了するまでお待ちください。 |

### 画像が映らない。

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。 | ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 |
| プロジェクターが正しく入力信号デバイスに接続されていません。 | 接続を確認します。 |
| 入力信号が正しく選択されていません。 | **SOURCE** キーを使って正しい入力信号を選択してください。 |
| レンズカバーが閉じられたままです。 | レンズカバーを外してください。 |

### イメージがぼやける。

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 投写レンズの焦点が合っていません。 | フォーカスリングで焦点を合わせてください。 |
| プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。 | 投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。 |
| レンズカバーが閉じられたままです。 | レンズカバーを外してください。 |

### リモコンが機能しない。

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 電池が切れています。 | 新しい電池に交換します。 |
| リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。 | 障害物を取り除いてください。 |
| プロジェクターからの距離が遠すぎます。 | プロジェクターから 8 メートル（26 フィート）以内の場所で操作してください。 |

### パスワードが間違っている。

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 入力したパスワードが正しくありません。 | 24 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。 |

# 仕様

## プロジェクターの仕様

仕様はすべて予告なく変更されることがあります。

### 光学仕様

解像度
1024 x 768 XGA (MX604/MX604w)
1280 x 800 WXGA (MW605/MW605w)
1920 (H) x 1080 (V) (MH606/MH606w)

ディスプレイ システム
1-CHIP DMD

レンズ
F = 2.56 ~ 2.68、f = 22 ~ 24.1 mm

ランプ
200 W ランプ

### 電気仕様

電源
AC 100–240 V、2.6 A、50–60 Hz（自動）

電力消費量
280 W（最大）、< 0.5 W（スタンバイ）

### 機械的仕様

重量
2.6 Kg (5.7 lbs)

### 出力端子

RGB 出力
D-Sub 15-pin（メス）x 1

スピーカー
2 ワット x 1

オーディオ信号出力
PC オーディオジャック x 1

### 操作

USB
Type-A 電源 5 V /1.5 A x 1（QCast ミラー HDMI ワイヤレスドングル用オプション）、Mini-B x 1

RS-232 シリアル コントロール
9 pin x 1

IR 受信機 x 2

### 入力端子

コンピューター入力
RGB 入力
D-Sub 15-pin（メス）x 1

ビデオ信号入力
S-VIDEO
Mini DIN 4-pin x 1
VIDEO
RCA ジャック x 1
SD/HDTV 信号入力
アナログ - コンポーネント（RGB 入力経由）
デジタル - HDMI x 1、HDMI/MHL x 1

オーディオ信号入力
オーディオ入力
PC オーディオジャック x 1

### 環境要件

動作温度範囲
0°C–40°C（海抜）

動作相対湿度
10%–90%（結露なきこと）

操作高度
0–1499 m (0°C–35°C)
1500–3000 m（0°C–30°C、高地モードオン）

保管温度範囲
-20°C–60°C（海抜）

保管湿度範囲
10% – 90% RH（結露なきこと）

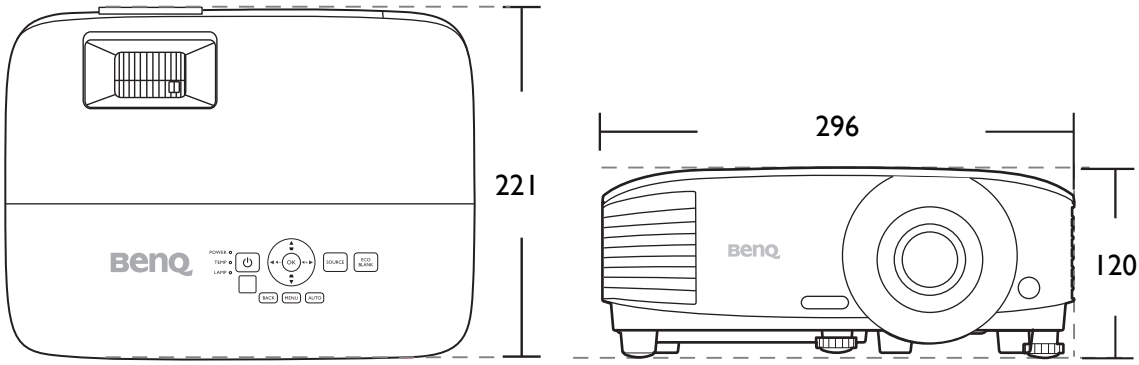
保管高度範囲
30°C@ 0~12,200m（海抜 0 以上）

搬送
製品の梱包材を推奨

補修
お問い合わせ窓口については、次のホームページを開き、お住まいの国を選択してください。
http://www.benq.com/welcome

# 外形寸法

296 mm（幅）x 120 mm（高さ）x 221 mm（奥行き）




単位：mm

# タイミングチャート

## サポートされる PC 入力のタイミング

| 解像度 | モード | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) | 対応 3D 形式 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | フレームシーケンシャル | 上 - 下 | サイドバイサイド |
| 640 x 480 | VGA_60 | 59.940 | 31.469 | 25.175 | V | V | V |
| | VGA_72 | 72.809 | 37.861 | 31.500 | | | |
| | VGA_75 | 75.000 | 37.500 | 31.500 | | | |
| | VGA_85 | 85.008 | 43.269 | 36.000 | | | |
| 720 x 400 | 720 x 400_70 | 70.087 | 31.469 | 28.3221 | | | |
| 800 x 600 | SVGA_60 | 60.317 | 37.879 | 40.000 | V | V | V |
| | SVGA_72 | 72.188 | 48.077 | 50.000 | | | |
| | SVGA_75 | 75.000 | 46.875 | 49.500 | | | |
| | SVGA_85 | 85.061 | 53.674 | 56.250 | | | |
| | SVGA_120 (Reduce Blanking) | 119.854 | 77.425 | 83.000 | V | | |
| 1024 x 768 | XGA_60 | 60.004 | 48.363 | 65.000 | V | V | V |
| | XGA_70 | 70.069 | 56.476 | 75.000 | | | |
| | XGA_75 | 75.029 | 60.023 | 78.750 | | | |
| | XGA_85 | 84.997 | 68.667 | 94.500 | | | |
| | XGA_120 (Reduce Blanking) | 119.989 | 97.551 | 115.5 | V | | |
| 1152 x 864 | 1152 x 864_75 | 75 | 67.5 | 108 | | | |
| 1024 x 576 | BenQ Notebook_timing | 60.0 | 35.820 | 46.966 | | | |
| 1024 x 600 | BenQ Notebook_timing | 64.995 | 41.467 | 51.419 | | | |
| 1280 x 720 | 1280 x 720_60 | 60 | 45.000 | 74.250 | V | V | V |
| 1280 x 768 | 1280 x 768_60 | 59.87 | 47.776 | 79.5 | V | V | V |
| 1280 x 800 | WXGA_60 | 59.810 | 49.702 | 83.500 | V | V | V |
| | WXGA_75 | 74.934 | 62.795 | 106.500 | | | |
| | WXGA_85 | 84.880 | 71.554 | 122.500 | | | |
| | WXGA_120 (Reduce Blanking) | 119.909 | 101.563 | 146.25 | V | | |
| 1280 x 1024 | SXGA_60 | 60.020 | 63.981 | 108.000 | | V | V |
| | SXGA_75 | 75.025 | 79.976 | 135.000 | | | |
| | SXGA_85 | 85.024 | 91.146 | 157.500 | | | |
| 1280 x 960 | 1280 x 960_60 | 60.000 | 60.000 | 108.000 | | V | V |
| | 1280 x 960_85 | 85.002 | 85.938 | 148.500 | | | |
| 1360 x 768 | 1360 x 768_60 | 60.015 | 47.712 | 85.5 | | V | V |
| 1440 x 900 | WXGA+_60 | 59.887 | 55.935 | 106.500 | | V | V |
| 1400 x 1050 | SXGA+_60 | 59.978 | 65.317 | 121.750 | | V | V |
| 1600 x 1200 | UXGA | 60.000 | 75.000 | 162.000 | | V | V |
| 1680 x 1050 | 1680 x 1050_60 | 59.954 | 65.290 | 146.250 | | V | V |
| 640 x 480@ 67 Hz | MAC13 | 66.667 | 35.000 | 30.240 | | | |
| 832 x 624@ 75 Hz | MAC16 | 74.546 | 49.722 | 57.280 | | | |
| 1024 x 768@ 75 Hz | MAC19 | 74.93 | 60.241 | 80.000 | | | |
| 1152 x 870@ 75 Hz | MAC21 | 75.060 | 68.680 | 100.000 | | | |

上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

## サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

• PC タイミング

| 解像度 | モード | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) | 対応 3D 形式 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | フレームシーケンシャル | 上 - 下 | サイドバイサイド |
| 640 x 480 | VGA_60 | 59.940 | 31.469 | 25.175 | V | V | V |
| | VGA_72 | 72.809 | 37.861 | 31.500 | | | |
| | VGA_75 | 75.000 | 37.500 | 31.500 | | | |
| | VGA_85 | 85.008 | 43.269 | 36.000 | | | |
| 720 x 400 | 720 x 400_70 | 70.087 | 31.469 | 28.3221 | | | |
| 800 x 600 | SVGA_60 | 60.317 | 37.879 | 40.000 | V | V | V |
| | SVGA_72 | 72.188 | 48.077 | 50.000 | | | |
| | SVGA_75 | 75.000 | 46.875 | 49.500 | | | |
| | SVGA_85 | 85.061 | 53.674 | 56.250 | | | |
| | SVGA_120 (Reduce Blanking) | 119.854 | 77.425 | 83.000 | V | | |
| 1024 x 768 | XGA_60 | 60.004 | 48.363 | 65.000 | V | V | V |
| | XGA_70 | 70.069 | 56.476 | 75.000 | | | |
| | XGA_75 | 75.029 | 60.023 | 78.750 | | | |
| | XGA_85 | 84.997 | 68.667 | 94.500 | | | |
| | XGA_120 (Reduce Blanking) | 119.989 | 97.551 | 115.5 | V | | |
| 1152 x 864 | 1152 x 864_75 | 75 | 67.5 | 108 | | | |
| 1024 x 576@ 60 Hz | BenQ Notebook Timing | 60.00 | 35.820 | 46.996 | | | |
| 1024 x 600@ 65 Hz | BenQ Notebook Timing | 64.995 | 41.467 | 51.419 | | | |
| 1280 x 720 | 1280 x 720_60 | 60 | 45.000 | 74.250 | V | V | V |
| 1280 x 768 | 1280 x 768_60 | 59.870 | 47.776 | 79.5 | V | V | V |
| 1280 x 800 | WXGA_60 | 59.810 | 49.702 | 83.500 | V | V | V |
| | WXGA_75 | 74.934 | 62.795 | 106.500 | | | |
| | WXGA_85 | 84.880 | 71.554 | 122.500 | | | |
| | WXGA_120 (Reduce Blanking) | 119.909 | 101.563 | 146.25 | V | | |
| 1280 x 1024 | SXGA_60 | 60.020 | 63.981 | 108.000 | | V | V |
| | SXGA_75 | 75.025 | 79.976 | 135.000 | | | |
| | SXGA_85 | 85.024 | 91.146 | 157.500 | | | |
| 1280 x 960 | 1280 x 960_60 | 60.000 | 60.000 | 108 | | V | V |
| | 1280 x 960_85 | 85.002 | 85.938 | 148.500 | | | |
| 1360 x 768 | 1360 x 768_60 | 60.015 | 47.712 | 85.500 | | V | V |
| 1440 x 900 | WXGA+_60 | 59.887 | 55.935 | 106.500 | | V | V |
| 1400 x 1050 | SXGA+_60 | 59.978 | 65.317 | 121.750 | | V | V |
| 1600 x 1200 | UXGA | 60.000 | 75.000 | 162.000 | | V | V |
| 1680 x 1050 | 1680 x 1050_60 | 59.954 | 65.290 | 146.250 | | V | V |
| 640 x 480@ 67 Hz | MAC13 | 66.667 | 35.000 | 30.240 | | | |
| 832 x 624@ 75 Hz | MAC16 | 74.546 | 49.722 | 57.280 | | | |
| 1024 x 768@ 75 Hz | MAC19 | 75.020 | 60.241 | 80.000 | | | |
| 1152 x 870@ 75 Hz | MAC21 | 75.06 | 68.68 | 100.00 | | | |
| 1920 x 1080@ 60 Hz | 1920 x 1080_60 | 60 | 67.5 | 148.5 | | V | V |
| 1920 x 1200 | 1920 x 1200_60 (Reduce Blanking) | 59.950 | 74.038 | 154.0000 | | V | V |

上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

• ビデオ タイミング

| タイミング | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) | 対応 3D 形式 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | フレームシーケンシャル | フレームパッキング | 上 - 下 | サイドバイサイド |
| 480i | 720 x 480 | 59.94 | 15.73 | 27 | V | | | |
| 480p | 720 x 480 | 59.94 | 31.47 | 27 | V | | | |
| 576i | 720 x 576 | 50 | 15.63 | 27 | | | | |
| 576p | 720 x 576 | 50 | 31.25 | 27 | | | | |
| 720/50p | 1280 x 720 | 50 | 37.5 | 74.25 | | V | V | V |
| 720/60p | 1280 x 720 | 60 | 45.00 | 74.25 | V | V | V | V |
| 1080/50i | 1920 x 1080 | 50 | 28.13 | 74.25 | | | | V |
| 1080/60i | 1920 x 1080 | 60 | 33.75 | 74.25 | | | | V |
| 1080/24P | 1920 x 1080 | 24 | 27 | 74.25 | | V | V | V |
| 1080/25P | 1920 x 1080 | 25 | 28.13 | 74.25 | | | | |
| 1080/30P | 1920 x 1080 | 30 | 33.75 | 74.25 | | | | |
| 1080/50P | 1920 x 1080 | 50 | 56.25 | 148.5 | | | V | V |
| 1080/60P | 1920 x 1080 | 60 | 67.5 | 148.5 | | | V | V |

## サポートされる MHL 入力のタイミング

| タイミング | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) |
|---|---|---|---|---|
| 480i | 720(1440) x 480 | 59.94 | 15.73 | 27 |
| 480p | 720 x 480 | 59.94 | 31.47 | 27 |
| 576i | 720(1440) x 576 | 50 | 15.63 | 27 |
| 576p | 720 x 576 | 50 | 31.25 | 27 |
| 720/50p | 1280 x 720 | 50 | 37.5 | 74.25 |
| 720/60p | 1280 x 720 | 60 | 45.00 | 74.25 |
| 1080/24P | 1920 x 1080 | 24 | 27 | 74.25 |
| 1080/25P | 1920 x 1080 | 25 | 28.13 | 74.25 |
| 1080/30P | 1920 x 1080 | 30 | 33.75 | 74.25 |
| 1080/50i | 1920 x 1080 | 50 | 28.13 | 74.25 |
| 1080/60i | 1920 x 1080 | 60 | 33.75 | 74.25 |
| 1080/50p | 1920 x 1080 | 50 | 56.25 | 148.5 |
| 1080/60p | 1920 x 1080 | 60 | 67.5 | 148.5 |

## サポートされるコンポーネント -YPbPr 入力のタイミング

| タイミング | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) | 対応 3D 形式 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | フレームシーケンシャル |
| 480i | 720 x 480 | 59.94 | 15.73 | 13.5 | V |
| 480p | 720 x 480 | 59.94 | 31.47 | 27 | V |
| 576i | 720 x 576 | 50 | 15.63 | 13.5 | |
| 576p | 720 x 576 | 50 | 31.25 | 27 | |
| 720/50p | 1280 x 720 | 50 | 37.5 | 74.25 | |
| 720/60p | 1280 x 720 | 60 | 45.00 | 74.25 | V |
| 1080/50i | 1920 x 1080 | 50 | 28.13 | 74.25 | |
| 1080/60i | 1920 x 1080 | 60 | 33.75 | 74.25 | |
| 1080/24P | 1920 x 1080 | 24 | 27 | 74.25 | |
| 1080/25P | 1920 x 1080 | 25 | 28.13 | 74.25 | |
| 1080/30P | 1920 x 1080 | 30 | 33.75 | 74.25 | |
| 1080/50P | 1920 x 1080 | 50 | 56.25 | 148.5 | |
| 1080/60P | 1920 x 1080 | 60 | 67.5 | 148.5 | |

1080i(1125i)@60 Hz または 1080i(1125i)@50 Hz 信号を表示すると、イメージが若干揺れる場合があります。

## ビデオおよび S ビデオ入力用にサポートされているタイミング

| ビデオモード | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | カラー副搬送波周波数 (MHz) | 対応 3D 形式 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | フレームシーケンシャル |
| NTSC | 15.73 | 60 | 3.58 | V |
| PAL | 15.63 | 50 | 4.43 | |
| SECAM | 15.63 | 50 | 4.25 または 4.41 | |
| PAL-M | 15.73 | 60 | 3.58 | |
| PAL-N | 15.63 | 50 | 3.58 | |
| PAL-60 | 15.73 | 60 | 4.43 | |
| NTSC4.43 | 15.73 | 60 | 4.43 | |